



# 電波時計について

## 電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

## 標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所あります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

(http://jjy.nict.go.jp)

## 標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。

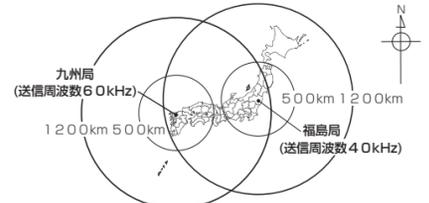
標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

## 海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがありますので、電波受信機能をOFFにして、手動で時刻を合わせてください。

## 電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

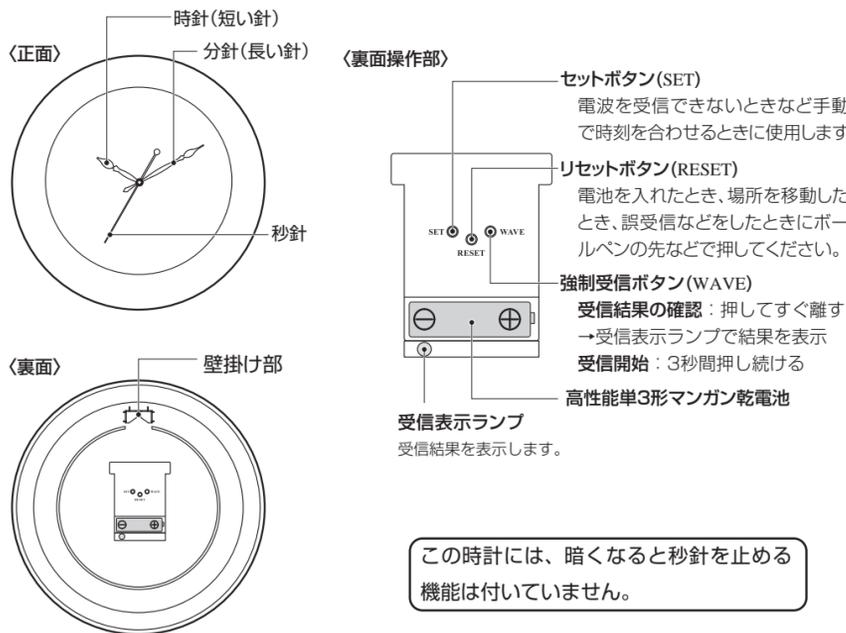
## 電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多いところなど  
電波障害の起きるところ
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



● 図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。



## A 電波を受信できない場合

● 朝までそのまましておく  
一般に夜間は電波状態が良くなるので、一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。

● 場所を変える  
電波の受信しやすい窓ぎわで、取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に向くように設置し、リセットボタン(RESET)を押して受信を開始してください。

電波を受信できない場合や意図的に時刻を変えたい場合は、手動で時刻を合わせることができます。

## ■手動での時刻合わせ

時刻合わせボタン(SET)を操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。

- 標準電波を受信しないときの時間精度はクォーツ精度になります。
- 手動で時刻を合わせても、電波の受信に成功すると時刻を修正します。  
→ **◎電波受信機能のON/OFF** 参照
- ④ ボタン操作をしていないのに針が早送りしているときは、手動で時刻合わせができません。



時刻合わせボタン(SET)を約3秒間押しつづけると時刻を合わせるモードになります。

- 時刻合わせボタン(SET)を押してすぐに離すと1分進みます。
- 時刻合わせボタン(SET)を押しつづけると早送ります。
- 時刻合わせボタン(SET)を6秒間操作しないと時刻合わせを終了します。

## 秒針の動きについて

時刻合わせボタンが押されている間は停止します。

## ◎ 強制受信とリセット

### 強制受信

受信に失敗した場合に時刻を継続。場所を移動したときなどに使用します。強制受信は、強制受信ボタン(WAVE)を約3秒間押し続けると、針が早送りになり12時位置に移動して受信を開始します。受信機能がOFFのときは機能しません。

### リセット

時刻を12:00にセットし、標準電波の受信機能をONにして受信を開始します。電池を交換したときや静電気の影響などにより誤作動したときに使います。

## ◎ 電波受信機能のON/OFF

標準電波を利用する、しないを設定することができます。

強制受信ボタン(WAVE)と時刻合わせボタン(SET)を約3秒間押しつづけます。秒針が早送り動き約5秒間、2時または10時を示します。

2時：電波受信機能 ON 状態  
定期的に受信を試み、電波の受信に成功すると時刻を標準時刻に合わせます。

10時：電波受信機能 OFF 状態  
標準電波を受信しません。

操作を繰り返すとONとOFFが切り替わります。※電波を受信しているときは切り替えできません。  
※リセットボタンを押すと受信機能がONとなり、受信を開始します。

## 使用方法 電池を入れて時刻を合わせる

手動で時刻を合わせる場合は、**A 電波を受信できない場合**の「手動での時刻合わせ」を参照してください。

◎窓際など電波の受信しやすいところでお使いください。

- ① 電池を入れる  
電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れます。電池を逆に入れると、時計は動きません。
- ② リセットボタン(RESET)を押す  
針が早送りで12時位置に移動して停止し、受信を開始します。  
※電池を入れた後は必ずリセットボタンを押してください。
- ③ 時計を掛ける  
**時計の掛け方**に従い、時計を確実に掛けてください。
- ④ 受信開始から15分後に受信結果を確認する  
最長15分程度受信を行います。受信が終わると針が早送り時刻を示します。  
強制受信ボタン(WAVE)を押してすぐに離すと、受信表示ランプが受信結果をお知らせします。  
3回点滅：受信成功 (正しい時刻)  
3秒間点灯：受信失敗 (不正確な時刻) → **A 電波を受信できない場合**へ  
消灯したまま：受信中

○受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このようなときは、場所を変えてリセットボタン(RESET)を押してください。

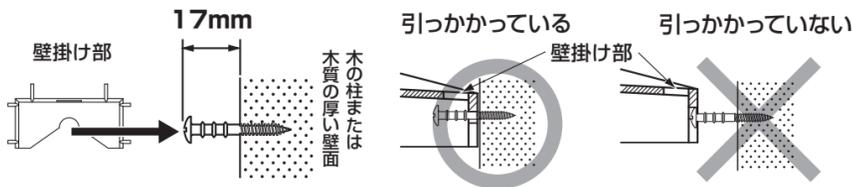
## 時計の掛け方

掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。
- 掛けるときは、上下、左右に軽く動かして、掛け具(木ねじ)に壁掛け部がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。

## 木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



## その他の壁面の場合

- 石膏ボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

## ◆ 電池の交換

ご使用状態により、1年に満たないで電池の交換が必要になることがあります。時計の進み・遅れが大きいときや時計が止まったときには、指定の新しい電池に交換してください。

- 電池からの液もれや発熱、破裂を防止するためにつぎのことをお守りください。  
● 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。

● 時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。



## 静電気の影響について

静電気の影響により、時計が正常に機能なくなることがあります。このようなときには、リセットボタン(RESET)を押してください。